

労山コーナー

女性のための山登り講座 初心者編

女性のための 山登り講座

初心者編

これから山登りを始めてみようと思われる方
山登りを始められたばかりの方
どうぞおきがるに参加してください。



第1回 「机上学習会」

日時 8月31日(土)13:00~17:00

場所 中京いきいき活動センター 会議
中京区西ノ京新建町3

内容 ①日帰り装備、食料、救急
②地図の読み方と磁石の使用法につ

第2回 「実技山行」金毘羅山～翠黛山

日時 9月8日(日)

第3回 「実技山行・地図山行」天ヶ岳

日時 9月29日(日)

第4回 「終了山行」赤坂山

日時 10月6日(日)



室
いて

【受講料】 3,000円(資料代、保険代含む
山行交通費は含まれていません)

【申込先】・FAX申し込みの場合は、案内ピラ「裏面に記入」に必要事項を記入し
送信願います

- ・PCの場合は、山下 mikikOyama51@hotmail.co.jp まで
「女性のための山登り講座」と明記し氏名(ふりがな)・住所・生年月日
- ・電話番号・PCアドレス・山の会に所属されている場合は会の名前
登山歴を記入してください

【定員】 15名(65歳までの方)

【申込締切】8月17日(土)受付確認のハガキを送付いたします

お問い合わせ 山下 携帯電話 090-2100-4084

主催 京都府勤労者山岳連盟 女性委員会

【北部講演会案内】 事故のない・安全で楽しい登山をめざして

「行きたい山」への科学のメス
事故のない・安全で楽しい
登山をめざして

昨年秋の京都労山交流会で実施され参加者から好評を得た講演が、今回北部5労山を中心に下記の要項で開催されます。いつまでも元気に山登りを続けていく上でも必見・必聴の内容です。前回聞き逃した方はぜひこの機会にご参加下さい。

日時 2019年9月7日(土) 13:30~16:30

開場13:00

会場 市民交流プラザふくちやま(JR福知山駅前)
3F・市民交流スペース

講師 国立大学法人 鹿屋体育大学教授 山



山本正嘉 氏

<プロフィール>

1957年神奈川県生まれ。東京大学教育学部体育学科卒業。東京大学大学院教育学研究科修士課程体育学専攻。登山歴は、1980年シヴリン北壁インド初登頂。チョーオユー無酸素登頂。日高全山単独無補給縦走など。現在、鹿屋体育大学教授、同スポーツトレーニング教育研究センター長。登山・アウトドアスポーツ領域の運動生理学研究では国内第一人者。著書に「登山の運動生理学百科」「登山の運動生理学とトレーニング学」等

参加協力券 前売り：500円 当日券：600円(一般のみ)
問合せ・申込先 辻信行(舞鶴山遊会) ☎0773-64-6079

北部5労山以外の会の参加申込みについては、事前に各会でまとめて集約し下記までご連絡ください。

Eメール aruki-oe@rakutyu.net

第1次集約 7月31日(水)

第2次集約 8月16日(金)

問い合わせ ☎090-9879-6131

組織拡大委員会・大江 六夫

自然保護セミナーのご案内

芦生の森の豊かな自然と北陸新幹線延伸について 学ぼう！！

自然保護委員会では、今年の自然保護セミナーとして京都丹波高原国定公園の芦生の森について、その豊かな自然について学び、計画がすすめられようとしている北陸新幹線延伸でその自然がどうなるのか、その影響について深く理解するため下記の内容を計画しています。詳細は次号で案内をさせていただきますが、多く会員のみなさんが参加されることをよびかけます。

記

- ・テーマ 「芦生の森の豊かな自然と北陸新幹線延伸」(仮)
- ・講演 広瀬慎也氏(写真家、自然ガイド、芦生山の家専属ガイド)
- ・日時 9月13日(金) 19時～21時
- ・場所 「ひとまち交流館」(予)

自然保護委員会から

「ライチョウ目撃情報活動」のよびかけ

いよいよ夏山シーズンが近づいてきました。夏山登山でアルプスなど計画されている会もあるかと思います。高山を代表する鳥といえば、いわずと知れたライチョウです。その姿を目撃し感激された方も多いでしょう。

労山もそのメンバーとなっている山岳団体自然環境連絡会では、「ライチョウの生息減少や増えすぎたシカ、クマやサルの人里への侵出など自然の変化が顕在化しています。野生動物の棲家を活動のフィールドとする登山愛好家として、野生鳥獣の保護と適性管理は大きな関心事ですが、まず生息の実態を把握することから始めるべきと考え全国の山岳地域を対象に「継続調査」を実施、目撃レポートを集め調査結果が労山HPに掲載されています。

(ライチョウ目撃情報ネットワークとして会員からのライチョウ目撃情報も掲載)

京都労山自然保護委員会でもその取り組みに参加・協力していきたいと思えます。ぜひ、山行でライチョウを目撃されたら情報をお寄せください。

○ライチョウ目撃情報の報告内容

- ①目撃日時
- ②目撃場所、標高、樹林帯かハイマツ帯か
- ③目撃数及び単独・つがい・親子など
- ④あれば写真(足環がついていれば見えるようなアングルがベスト)

足環が映っていれば、どこで生まれ、どのくらい移動しているかがわかる貴重な資料になります(足環がついてなければ新しい個体であるかもしれずそれもよい情報になります)

○送り先 京都労山自然保護委員会 平尾宛

PCメール：mb72ew23ml@kcn.jp 又は FAX：0774-32-7365

目撃情報報告書（例）

目撃者	所属（ ） 氏名（ ）
日時	年 月 日 時頃
場所（山名、尾根、谷名等）	
標高	m付近
環境	樹林帯 ハイマツ帯（ ）
目撃数	羽 単独 つがい 親子

※写真があれば添付してください。

参考（環境省HP等から）

○ライチョウはキジ目ライチョウ科の鳥で、北半球北部に広く分布していますが、日本のライチョウは分布の最南端に隔離分布する亜種です。国の特別天然記念物に指定されています。高山帯に隔離分布し、かつては白山や八ヶ岳にも生息していたが、現在は北・南アルプス、乗鞍岳、御嶽山、頸城山塊（火打山他）に生息しており、1980年代には推定約3,000羽とされていたが、2,000年代には2,000羽弱に減少しています（信州大学）。ライチョウは環境省の第4次レッドリストで絶滅危惧IBとなっています。2012年に保護増殖事業計画が策定され、保護及び増殖が図られています。

○ライチョウ保護増殖検討会（環境省主催）での情報

（南アルプスライチョウサポーター 森浜学氏より）

- ・国内5施設が非公開で人工飼育している雷鳥の一般公開を決定（2019年1月、上野動物園他3月公開を目指す）
- ・木曾駒ヶ岳周辺で個体導入試験を実施
中央アルプス木曾駒ヶ岳で約半世紀ぶりで雷鳥の定着が確認、
雷鳥絶滅地域での個体群復活と野生復帰技術の確立を目的にこの雌1羽に乗鞍岳で採取した別のライチョウの有精卵を抱卵、孵化させる個体導入試験を実施、19年10月まで追跡調査

2019年度連盟交流会について

今年は 西山ハイキングクラブ 乙訓山の会 京都伏見山の会と一緒に主管として取り組みます
内容等は、今後 三つの会で検討しながら決めていきます
たくさんのかたの参加をお待ちしております

日時 11月 9日（土） 10日（日）

場所 アクトパル宇治 宇治市西笠取辻出川西1番地

（京滋バイパス笠取ICから車3分） 駐車所場約300台無料

予定

9日 研修会予定 夕刻より交流会 常設テント場10張貸切

10日 近くの山を選考中（岩間山、東海自然歩道、本宮の峰 etc）

お問い合わせ 連盟交流担当 氏野 jun-you-52-21@nike.eonet.ne.jp



搬送ネットの安全対策の推奨について

救助隊事務局

搬送ネットは小さくて軽くて（約 50g）今や登山装備の必携品となっています。しかし、搬送している時にストックの一部がネットの網目から突然外れた経験はありませんか？ この現象は昨年の無雪期搬出訓練の時にもありました。

この原因はネットが切れるのではなく、ネットの結び目の末端が負傷者の過重で結び目から抜けて結び目が解けるからです。搬送ネットは 4～6 人で持っておりストックは複数の網目を通してあるのでストックの一部が網目から外れても負傷者が落ちることはありません。しかし、この現象が何箇所もの網目で起きれば危険です。

過重でネットの結び目の末端が結び目から抜けにくくなる安全対策を推奨します。

搬送ネットで負傷者を運んでいると・・・



突然ストックが網目から外れることがある。

結び目のほつれた末端部分が負傷者の荷重により結び目に入り込み突然スッポと結び目から抜ける。抜けると結び目が解けてストックが網目から外れる。（ほつれが無くても抜けることがあります）



全ての末端部分を山用のコンロの火(弱火)であぶってこぶを作るとほつれも無くなり、こぶがあると結び目にこぶが引っかかって抜けにくくなります。ぜひ、このような安全対策をして下さい。（結び目は 52 ケ所程あり約 20 分でできます）